

# あなたの大切な人が依存症かな？ と思ったら

薬物依存症は、本人だけでなく、家族も心身ともに不健康になってしまうことがあります。

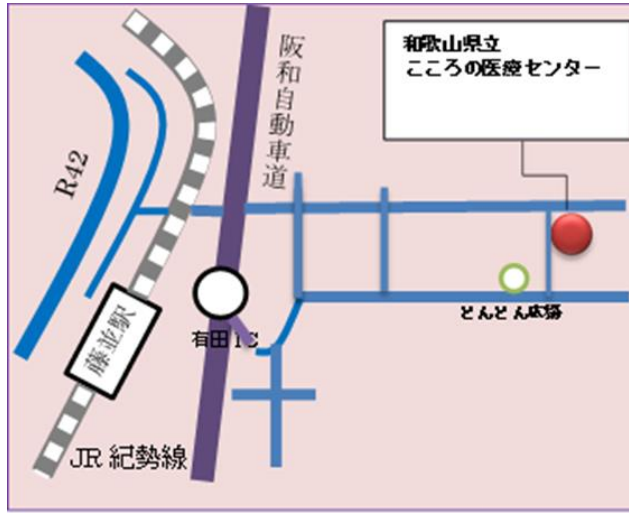
誰にも相談できないという思いを抱えている方、家族の薬物に関する問題で困っているのは、あなただけではありません。

一度、あなたが抱えている問題について相談してみませんか？

まずは、当院の相談員あてにご相談ください。

## 薬物依存症のサイン

- 薬物を使いたいという強い欲求がある
- やめようとしたり、量を減らそうとしたりしても、自分でコントロールできない
- 薬物の使用をやめたり、量を減らしたりすると、離脱症状（禁断症状）（\*）が出る
- （\*）不眠・過眠・抑うつ・不安・焦燥・幻覚・妄想・筋肉や関節の痛み・けいれん発作・食欲亢進・脱力・嘔吐・下痢・異常な発汗など
- 薬物に「耐性」ができ、使用量が増える
- 薬物使用中心の生活になる



〒643-0811  
 和歌山県有田郡有田川町庄31  
 電話 0737(52)3221  
 窓口 医療相談・連携室  
 月曜～金曜 9時～16時

### 交通案内

- 公共交通機関利用の場合  
 JR紀勢本線藤並駅から有田鉄道バス 約12分  
 こころの医療センター前 下車徒歩1分
- 車利用の場合  
 【大阪・和歌山方面から】  
 阪和自動車道 有田 IC から  
 県道吉備金屋線 約10分  
 【御坊・新宮方面から】  
 阪和自動車道 有田南 IC から  
 県道吉備金屋線 約10分

薬物使用に関することで  
 困っていませんか？



和歌山県立こころの医療センター

## ◆薬物依存症とは？

大麻、覚せい剤、危険ドラッグ、有機溶剤（シンナー等）、ガス、処方薬（睡眠薬や安定剤）や市販薬（痛み止め、咳止め）など、本来の目的から逸脱した薬品の乱用を繰り返した結果、「依存」が生じ、自分の意思で薬物使用をコントロールできない状態になっていることをいいます。

## ◆やめたくても、やめられない！

### 薬物依存症は脳の「病気」です

「本人の意思」や「性格」は関係なく、誰でもなる可能性がある病気です。

## ◆どんな影響、問題が起きるの？

### ◇精神症状◇

- ・イライラ ・不眠 ・不安 ・幻覚 ・妄想
- ・フラッシュバック など

### ◇身体的な問題◇

- ・脳神経障害 ・肝臓、呼吸器、心臓などへの影響

### ◇家庭内の問題◇

- ・家族間での不和、トラブル ・暴力 ・虐待

### ◇社会に関わる問題◇

- ・仕事や人間関係のトラブル ・失職 ・退学
- ・借金 ・孤立 ・犯罪など司法に関する問題

### ◇その他◇

- ・薬物使用中の運転による事故
- ・薬物使用時の注射針による感染症のリスク

## 薬物依存症治療の流れ

下記の流れで治療を行います。

- (1) 本人もしくは家族等からの相談
- (2) 予診・初診・診断
- (3) 治療プログラム等への参加
- (4) 継続的な診療

## 断薬・回復に向けて

- ①薬物を使用しない新しい生活スタイルの確立を目指します。
- ②家族には、家族教室への参加をおすすめします。
- ③具体的な生活イメージ作りを専門スタッフがサポートします。
- ④通院、自助グループへの参加

## 治療プログラムについて

個別・集団治療プログラム（全24回程度）  
**SMARTPP-24（物質使用障害治療プログラム）**を使用（テキスト代 2,400円＋税）  
 薬物のない人生を送っていくために役立つ知識や方法を個別またはグループで話し合いながら考えていきます。テキストを使用しながら進めていきます。

### 【テキスト内容】

- 引き金と欲求 ○依存症ってどんな病気？
- 薬物・アルコールを使わない生活を送るための注意事項 ○回復のために-信頼、正直さ、仲間-
- 再発を防ぐには ○お互いを大事にするためのコミュニケーション ○セルフケア など

薬物依存症は回復できます。治療を受けながら、薬物に頼らない生き方を、一緒に目指していきます。

## ■家族教室

ご家族が病気の理解を深めたり、ご自分のことを話してもらいながら、具体的に困っていること等への対応について考えていきます。

### 【テキスト内容】

・薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部作成）など

## <その他の社会資源>

■依存症回復支援施設  
 ・和歌山DARC

（Drug Addiction Rehabilitation Center）  
 依存症に関する相談を受けたり、日中活動や居場所の提供、ミーティングなどを行ったりするリハビリ施設です。

## ■自助グループ

・NAミーティング  
 薬物依存症からの回復を目指す人が集う自助グループであり、同じ病気の仲間とともに自身の体験談を語り合う中で、自分自身を見つめ直します。

## ■相談機関

和歌山県精神保健福祉センター、最寄りの保健所などで、本人や家族の相談にのっています。

相談することで、通報されるということはありません。相談者のプライバシーは守られます。